



「屠龍技（とりゅうのぎ）」

校長 渡邊 昌彦

新年あけましておめでとうございます。2024 年が始まりました。まずは、1 月 1 日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りし、被災されたすべての方へのお見舞いを申し上げます。一刻も早く穏やかな日常に戻れることを願っています。

本当に険しい年の始まりになりました。年頭にあたり、このような時こそ目の前の子どもたちの確かな成長のために、教職員一同力を合わせて明るくしなやかに前向きにやっといこうと誓いあいました。2024 年も東新潟中学校をよろしく願います。さて、今年は辰（龍）年です。昨年、龍にまつわるお話を PTA 研究大会（講師は岩崎由純氏）で聞く機会があったので、一部を紹介します。

東京消防庁ハイパーレスキュー隊（以下 THR 隊）の第 6 方面本部の壁に、「屠龍技」（とりゅうのぎ）という言葉が掲げられています。「屠龍技」とは、中国のことわざで、昔山奥に悪い龍が住んでいて、時折現われては村人に害（災害のたとえ）をなした。一人の青年がこの龍を退治しなければならないと考えて、その龍を屠（ほふ）る技を身に付けるべく一生かけて体を鍛え、技を磨き万一に備えたそうです。しかし、その後、龍は二度と姿を現さなかった。それでもその青年は、一生体を鍛え続けたということから、辞書には「現れない架空の龍のために努力をすること。無駄な努力」と記されています。THR 隊の方は、「龍の出現に関わらず屠龍技を磨く。災害は起きない方がいいに決まっている。ただし、万が一、現れたら一撃のもとにこれを屠る。災害に備えて常に訓練を重ねる」という意味を込めて、この言葉を掲げているそうです。

しかしながら、千年に一度の大きな龍が現れました。福島第一原発事故、津波が押し寄せ放射能が漏れ、水素爆発が起きたのです。自衛隊が消火活動を手間取っている時、THR 隊は自らの命も危険にさらされることが明らかな中、「放射能対策はできています」と申し出て現場に駆けつけ消火を成し遂げました。後の報道で、THR 隊の佐藤本部長が、現場に駆け付ける時、奥さんと交わしたメールは「現場に行ってくる」の 1 行、奥さんの返信も「日本の救世主になってください」の 1 行、奥さんは泣きながらの返信だったそうです。

（以下省略）

今回の地震災害でも、隣県から駆け付けた消防士、自衛隊の皆さんで懸命に不明者の捜索、救助が行われています。私たちは、その方々の使命感の強さと家族の方々の覚悟があることを忘れてはならないと思います。また、私たちも今後いつどのような龍（様々な困難）が目の前に現れるかもしれないことを踏まえ、屠る技を磨いておきたいものです。その技を、たくましく生きる力と呼びたいと思います。

身の安全を確保する行動を

1月9日（火）の全校朝会では、津波浸水想定図等を用いて避難行動やライフライン（水道・電気・ガス）が途絶えたときへの備えについて、防災担当が改めて説明しました。いざというときに家族とどこで落ち合うかということを含め、ご家庭でも避難時の行動についてご確認をお願いいたします。

まず大切なのは、

"あなたが"
逃げること

あなたが逃げる姿を見て避難をする人も出てきます。
迷ったら避難場所へ。

生徒会活動の引継ぎが始まりました

生徒会役員選挙で選ばれた新役員の任命式を12月19日（火）に行いました。現在は専門委員長等の選出を行っています。

東新潟中学校の伝統を引き継ぎ、今後の生徒会活動を充実させられるよう、3年生の現生徒会役員や専門委員長の皆さんから学びながら、よい準備を進めてほしいと思います。



新年を迎えるにあたり、切り絵を教えてください、とお願いしている地域ボランティアの先生から作品をいただきました。

巧みな技術で作られた迫力ある作品を、ご来校の際にぜひご覧ください。

保護者の皆様へのお願い

当校ではスマートフォンなどからの入力での欠席等が完了する連絡フォームを導入しています。受付時間について再度ご確認ください。

**受付時間：欠席・遅刻・早退をする
当日の7：45まで**

* 7：45以降は行き違い防止のため、**8：15までに電話での連絡**をお願いいたします。

学校ホームページのご紹介

学校ホームページにおいて、教育活動の様子、月の予定、各種たより等をお知らせしております。左のQRコードからご覧ください。

なお、次の書類もダウンロードしていただけます。ご利用ください



- ・療養解除届（新型コロナウイルス感染症用）
- ・療養解除届（インフルエンザ用）
- ・感染症診断通知書（新型コロナウイルス・季節性インフルエンザ以外）
- ・学生割引証交付願
- ・東新クラブ規約・各種様式